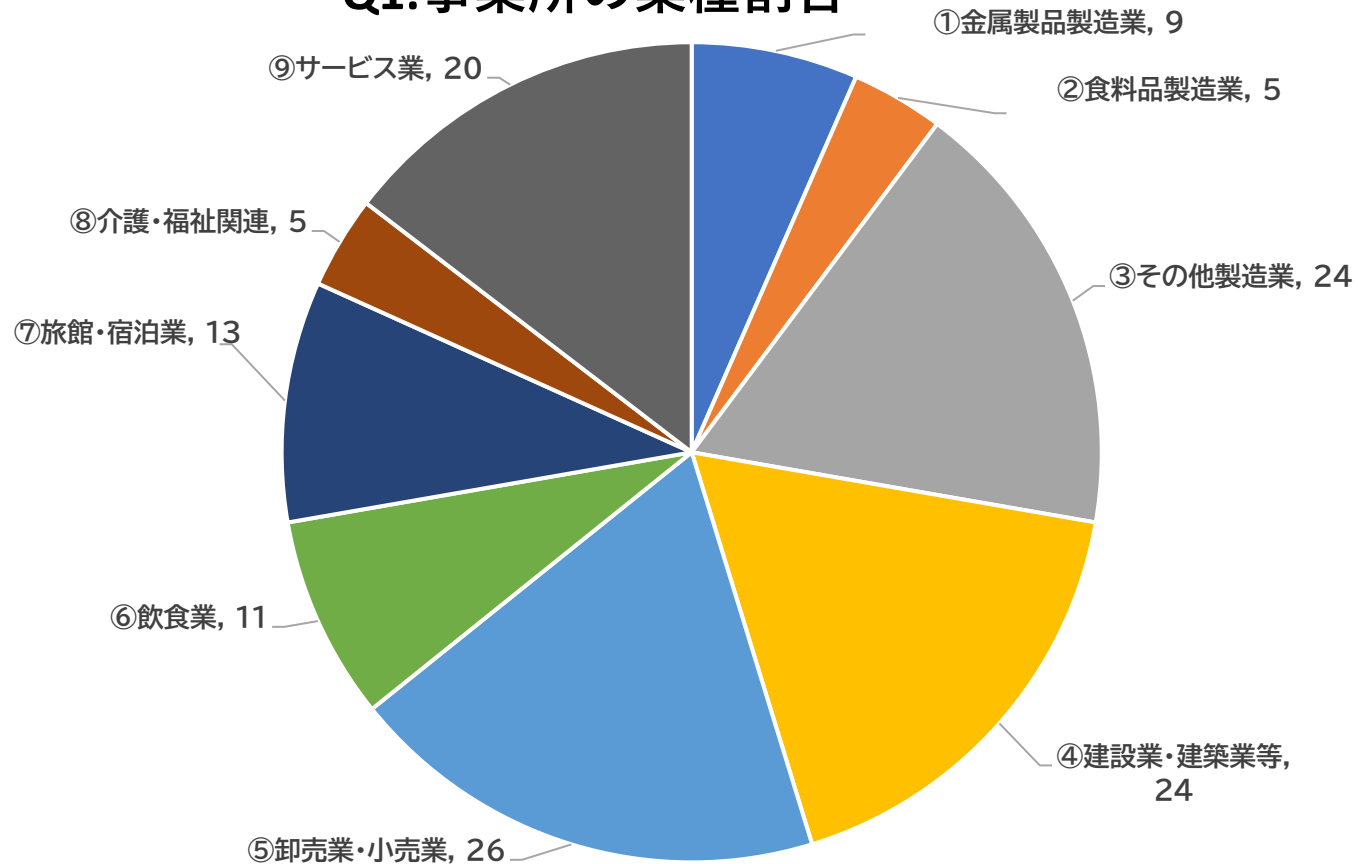


景況に関する調査報告

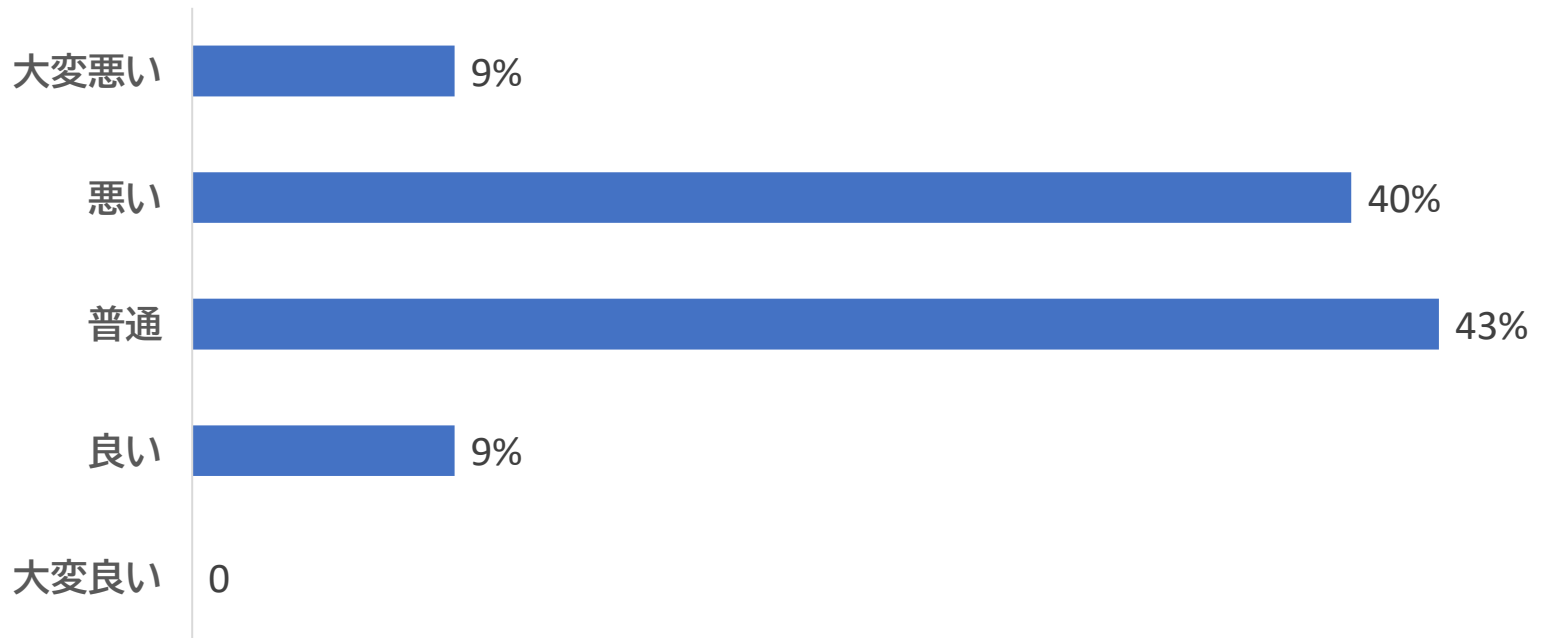
実施時期 R4年7月15日～8月3日

アンケート配布数：782 回収数：147 (18.8%)

Q1.事業所の業種割合

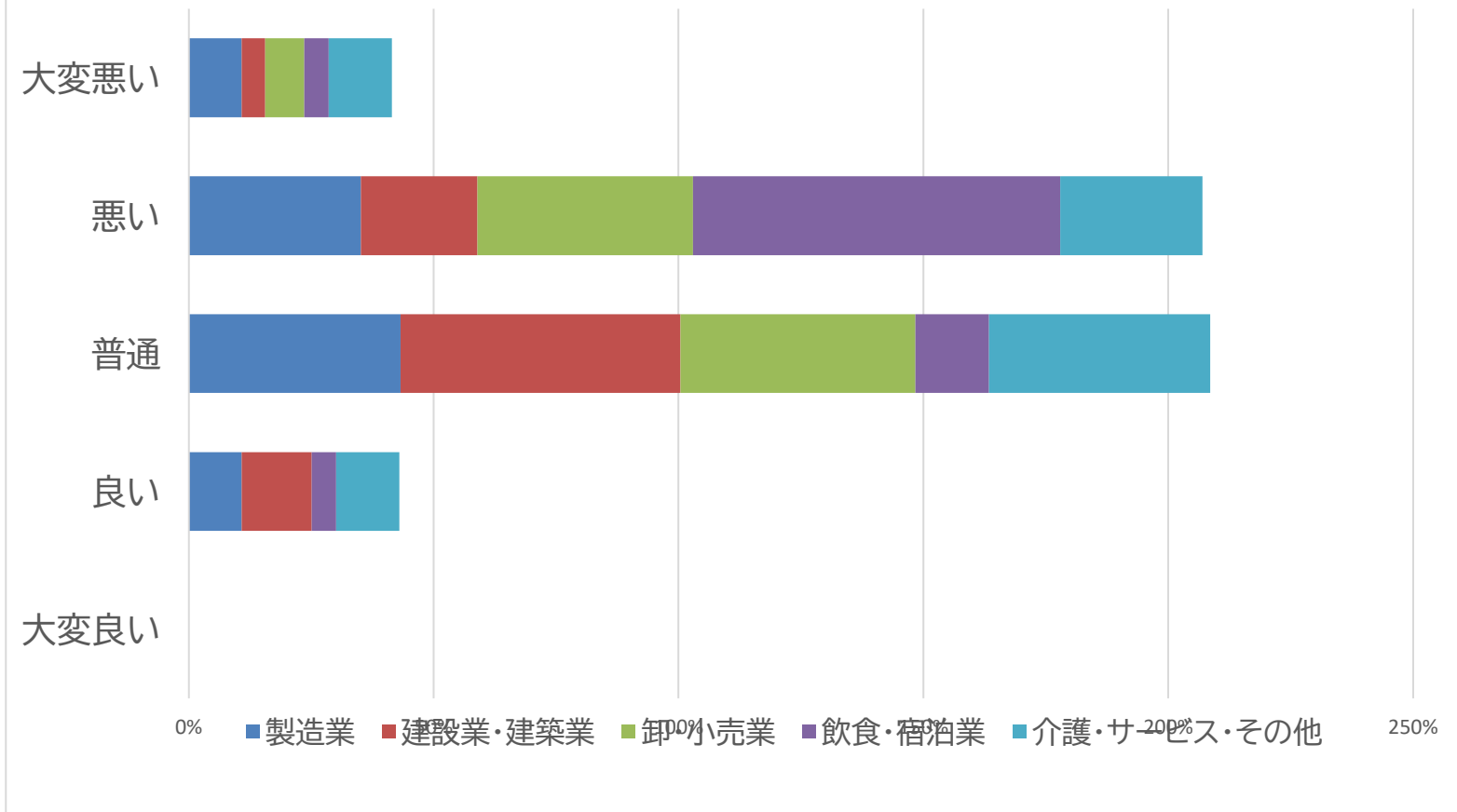


Q2.貴社の景況感について



景況感では
大変良いが無く、普通が43%と半数近い。大変悪いが9%
悪いが40%で、悪いを合わせると49%を占めている。
良いは9%となっている。
市内の景況感としては普通が多いものの悪いも同じくらい多い状況である。

景況感 業種別



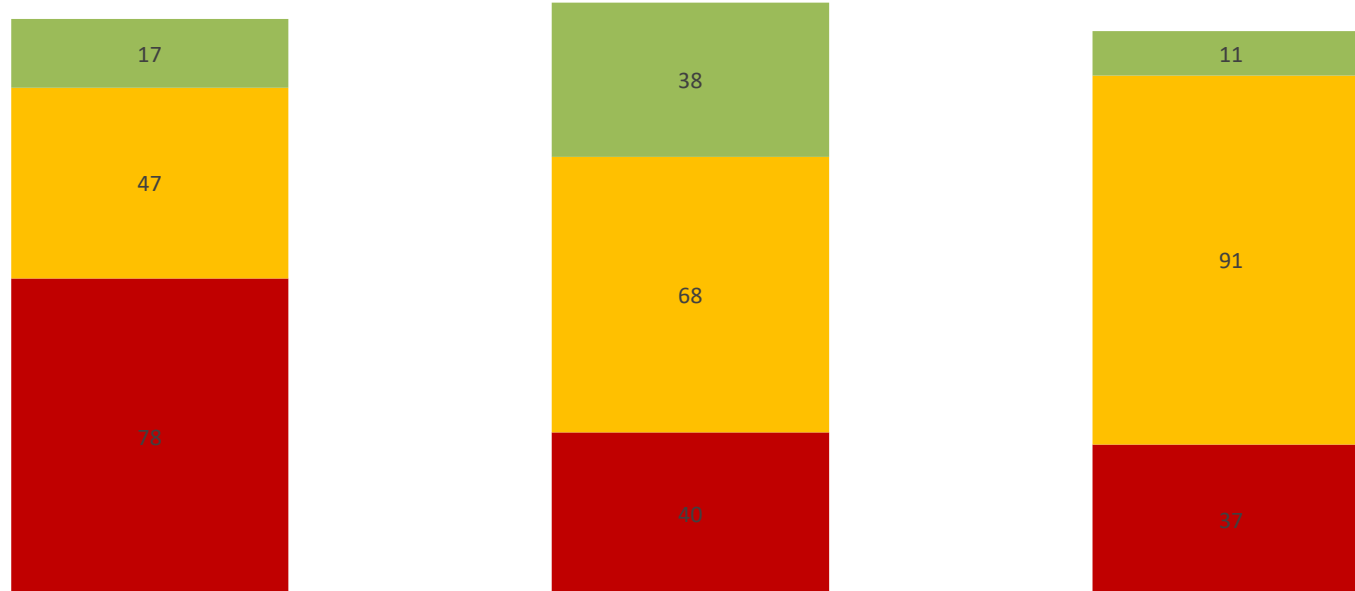
業種別に見てみると、

「良い」は建設業が多く、「普通」は建設業、卸・小売業が多い。

「悪い」は飲食・宿泊業が多く、「大変悪い」は介護・サービス業が多い。

全業種売上割合と推移（今期のR4年4月～6月との比較）

■ ①減少 ■ ②変わらない ■ ③増加



コロナ前(R1.4～6)と比較

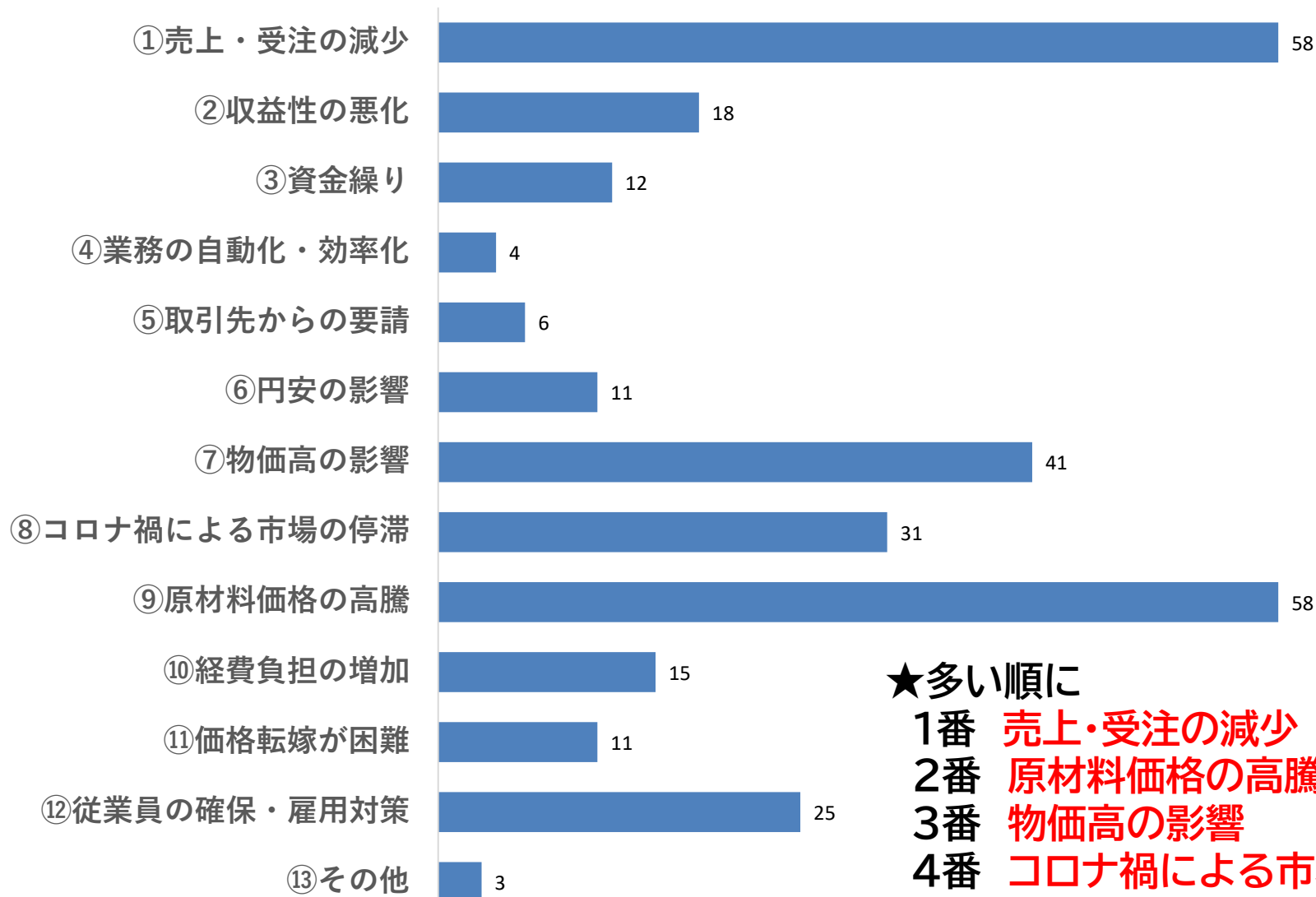
コロナ禍(R3.4～6)

今後半年程度の予測

コロナ前との比較では減少が多かったが、昨年および予想では徐々に減ってきている。変わらないの割合が増えている。

コロナ禍の中で減少傾向はあるが売上を戻しつつある。

Q4.経営に影響がある事項について



★多い順に

1番 売上・受注の減少

2番 原材料価格の高騰

3番 物価高の影響

4番 コロナ禍による市場の停滞

5番 従業員の確保・雇用対策

Q4.経営に影響がある事項 業種別（上位3番）

	1番	2番	3番
製造業	原材料価格の高騰	売上・受注の減少	収益性の悪化
建設業・建築業	原材料価格の高騰	売上・受注の減少	物価高の影響
卸売業・小売業	売上・受注の減少	物価高の影響	コロナ禍による市場の停滞
飲食業・旅館・宿泊業	原材料価格の高騰	物価高の影響	売上・受注の減少
介護・福祉関連、サービス業、その他	売上・受注の減少	従業員の確保・雇用対策	原材料価格の高騰

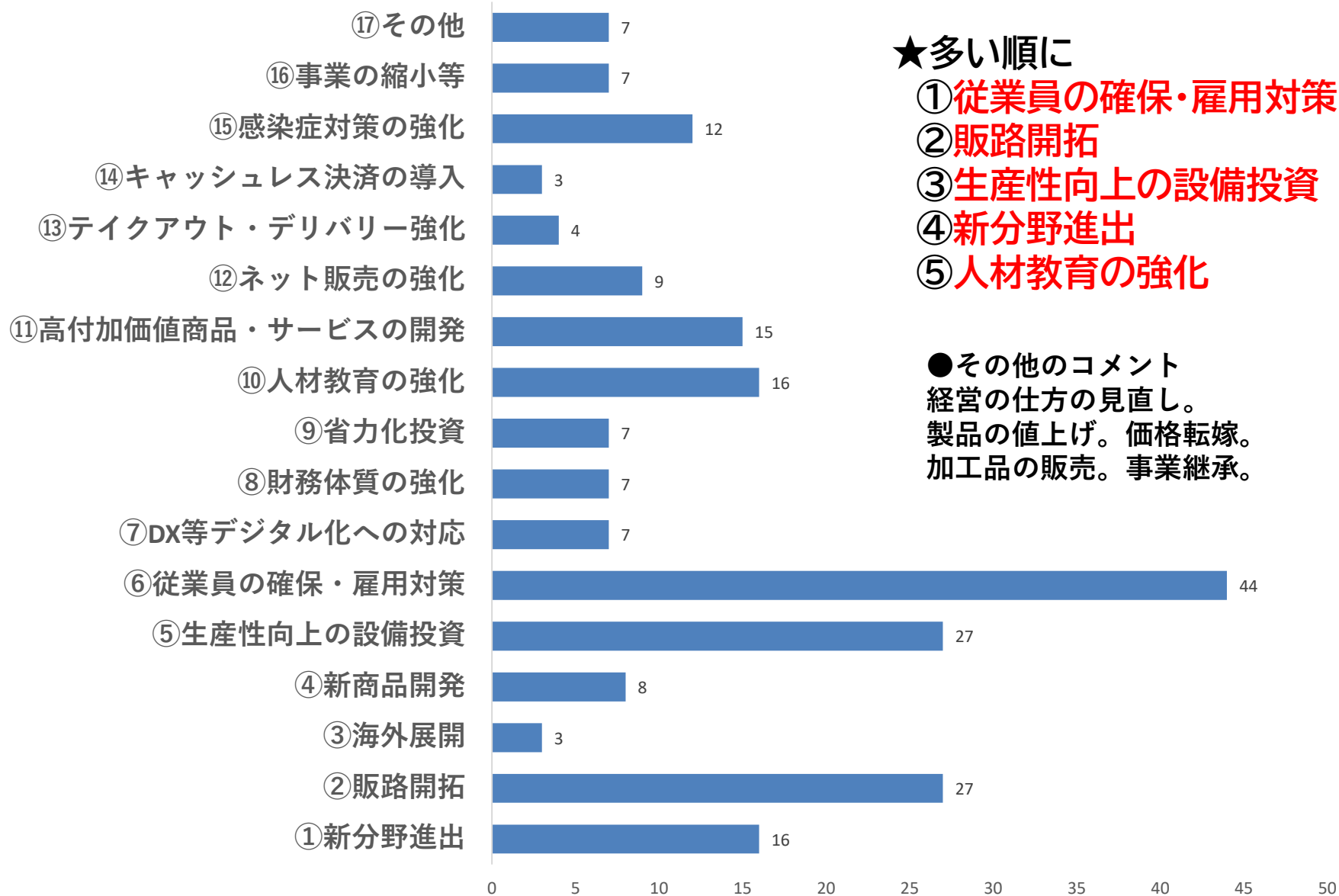
経営に影響がある事項では、製造業、建設業、飲食・宿泊業で「原材料価格の高騰」が挙げられている。

卸・小売業、介護・サービス業では「売上・受注の減少」を挙げている。

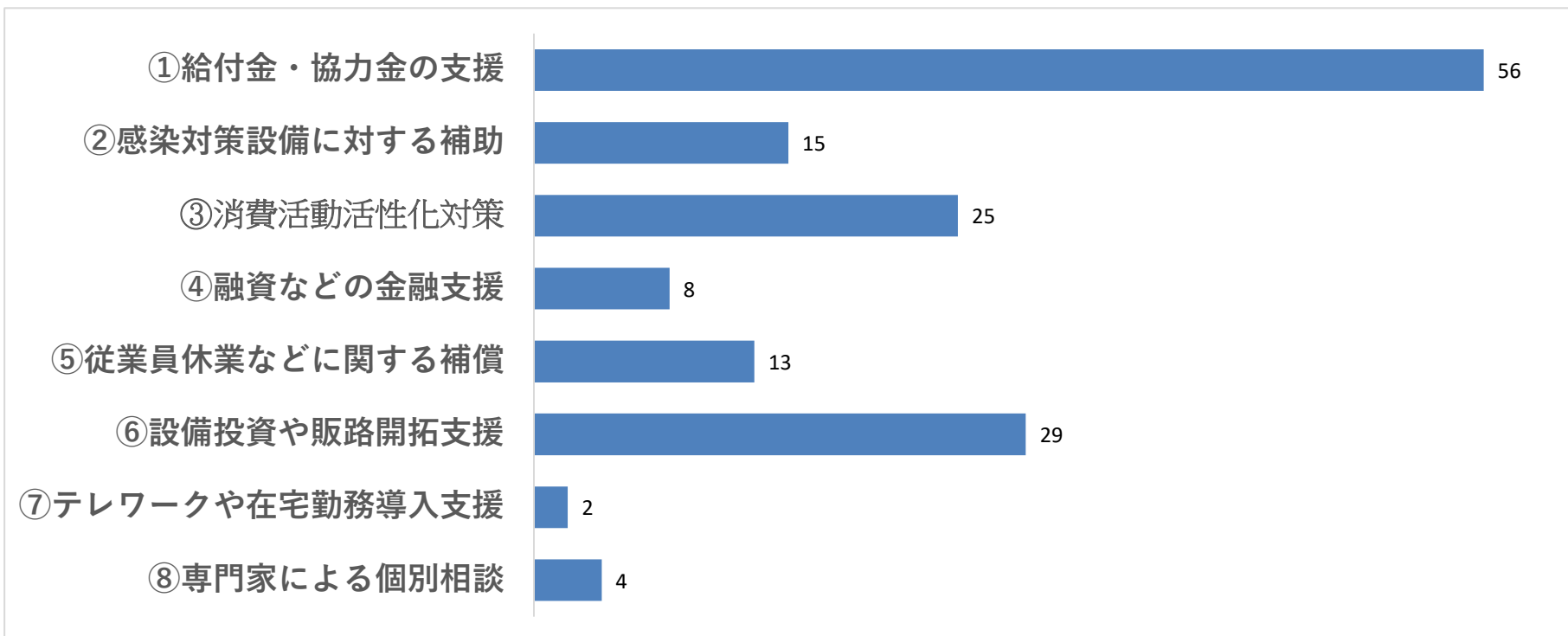
2番目に他に「物価高の影響」「従業員の確保・雇用対策」を挙げている。

3番目に他に「収益性の悪化」「コロナ禍による市場の停滞」を挙げている。

Q5. 今後考えている取組について



Q6.期待する支援策や要望



★コメント

人口増加への取組み、移動手段の充実。
電力価格の補填をしてほしい。
ロシアによるウクライナ侵攻による原油価格高の為、
燃料代の支援。
コロナ2類から5類にすること。いち早く国民がマスクを
外せるようにして頂きたい。
ガソリン価格の補助に類似する、価格の高騰や抑制する
施策を期待する。

★多い順に

- ①給付金・協力金の支援
- ②設備投資や販路開拓支援
- ③消費活動活性化対策
- ④感染症対策設備に対する補助
- ⑤従業員休業等に関する補償